

2020年度 開星中学・高等学校 研究会の実施について

目的：本校の今年度の授業のガイドラインの1つである、「生徒に深く考えさせる「問い」のある授業」を開発していくため。

本校教員間だけでなく、幅広い交流を通じて考察を深めるため。

参加者：教育関係者（大学・高校・中学）・開星中学・高等学校教科主任・希望者

主催：開星中学・高等学校 研究開発部（代表 倉掛 裕喜）

日時：1回目：2021年1月13日（水） 16:00～17:00 図書館

2回目：2021年2月18日（木） 15:00～16:00 図書館

場所：開星中学・高等学校 3F 図書館

内容：開星中学・高等学校の教科主任から、今年度の各教科での取り組みを簡単に発表してもらい、そのことについてディスカッションを行う。

（各教科からは、「探究」につながる有効な「問い」や「しかけ」とはどのようなものがあるかを発表してもらいます。）

《参考までに今年度の開星中学・高等学校の取り組み》

- 1、年度当初の職員会議で、ガイドラインの周知（安全安心な場づくり・協働学習 20%・問いのある授業へ）
- 2、「問い」や「探究」につながるしかけの開発
生徒に深く考えさせる有効な「問い」や「しかけ」とはどのようなものか？
具体例を各教科でまとめる。（12月に集計。1月6日（水）の職員会議で発表予定）
- 3、校内研究授業の実施
10月に校内研究授業の実施（英語・数学・国語・体育）
3月に校内研究授業の実施（初任者もしくは2～3年目の教員）
- 4、研究会の実施
12月と2月に年2回実施予定。外部教育関係者との交流も含む。

参加を希望される方は、研究開発部 部長 倉掛 裕喜まで

hiro-kurakake@kaisei.matsue.shimane.jp